

## 薬用作物産地支援 栽培技術研修 関東・北陸会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

研修実施場所： 静岡県総合社会福祉会館（静岡市葵区駿府町1-70）401会議室

実施時期： 9月5日(木)～6日(金)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
9月5日 (木)	13:00-13:30 (30分)	12:50現地集合 場所:掛川駅(JR東海) 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:30-15:00 (90分)	[講義・現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	静岡県牧之原市 株式会社薬善の管理圃場(ミシマサイコ)における現地研修を通じて、薬用作物の特徴、栽培上の注意点、種子・種苗の供給、品質評価等について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。		
	15:00-16:10 (70分)	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	16:30-17:30 (60分)	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	高林 耕平	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
9月6日 (金)	9:00-10:30 (90分)	[講義] 薬用作物の国内栽培技術について(仮題)	国内栽培の期待が高い薬用作物の栽培技術について解説する。(ミシマサイコ、シャクヤク、ジュウヤク、トウキ等)	酒井 英二	岐阜薬科大学 薬草園 研究室 教授
	10:40-12:10 (90分)	[講義] 農水省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」の取り組み(仮題)	薬用作物の高品質な産品を低コストで安定的に栽培・収穫し、複合経営モデルを実証することを目的としたプロジェクト研究のこれまでの成果(特に静岡県の担当するミシマサイコの研究成果)について解説する。	久松 奨 種石 始弘	静岡県農林技術研究所 伊豆農業研究センター わさび生産技術科 上 席研究員 生育・加工技術科 科 長
	12:10-13:10	昼休み			
	13:10-14:40 (90分)	[情報交流会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40-15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	